

		評価項目	評価結果				7.0 100.0	0% 20% 40% 60% 80% 100%
			A	B	C	D		
信頼される 教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	7	0	0	0	7.0 100.0	100
	2	安全管理危機管理	6	1	0	0	6.7 95.9	86 14
	3	学校公開情報発信	7	0	0	0	7.0 100.0	100
	4	カリキュラムマネジメント	1	6	0	0	5.3 75.5	14 86
	5	学校・家庭・地域の連携協働	2	3	2	0	5.0 71.4	29 43 29
	6	共にある教育の実現	1	5	1	0	5.0 71.4	14 71 14
	7	働き方改革の徹底	2	4	0	0	5.7 81.0	33 67
	8	ワンチームでビジョンを共有	0	4	2	0	4.3 61.9	67 33
学力の定着	9	学習習慣・学習規律の定着	1	6	0	0	5.3 75.5	14 86
	10	基礎・基本的な学力の定着	3	4	0	0	5.9 83.7	43 57
	11	新たな価値を創造する力	1	6	0	0	5.3 75.5	14 86
	12	外部人材ICT活用	2	4	1	0	5.3 75.5	29 57 14
	13	ユニバーサル・デザイン	2	5	0	0	5.6 79.6	29 71
心の豊かな 醸成	14	自己有用感の醸成	1	6	0	0	5.3 75.5	14 86
	15	認知機能・社会性の向上	1	5	1	0	5.0 71.4	14 71 14
	16	内面に根ざした道徳性の涵養	2	5	0	0	5.6 79.6	29 71
	17	心の居場所づくり	4	2	1	0	5.9 83.7	57 29 14
体の健全な 育成	18	新しい生活様式の定着	5	2	0	0	6.4 91.8	71 29
	19	体力・運動能力の向上	1	6	0	0	5.3 75.5	14 86
	20	ストレスに対処できる力	1	2	2	2	3.6 51.0	14 29 29 29
	21	健康管理保健衛生	4	3	0	0	6.1 87.8	57 43
輝く未来に 向かって	22	言語能力の向上	7	0	0	0	7.0 100.0	100
	23	情報活用能力の向上	7	0	0	0	7.0 100.0	100
	24	国際社会で活躍できる人材	1	1	2	3	3.0 42.9	14 14 29 43
	25	特別支援教育の推進	3	4	0	0	5.9 83.7	43 57

(人数)

(%)

評価委員会からのコメント(抜粋)

A	学校の経営方針が明確で、職員間の連携もよくとれていると思います。「全職員の経営参画」の意識も高いものと思われ、全教職員が大変まとまっている感じが伝わってきます。
A	通学路安全マップの作成、日々の通学路点検、iPad等の最新アイテムを活用した不審者対応など、常に危機管理に徹していると感じています。プール脇の門が時々開いたままです。
A	閉塞感がある世の中で、“今できること”を模索して実行している学校の様子を、常に家庭に情報提供している姿が見られ、安心できますし、高い信頼感につながっています。
B	都や市からもカリキュラムについて指導はあるのかもしれませんが、今後、当校としてどのように人間性ある人材を育てようとしているのか共有と実践を期待します。
C	コロナ禍ということで外部人材活用や保護者との教育活動は控えていたと感じますが、コロナ禍だからこそ、保護者・地域との連携が重要だと思うので、できることをお願いします。
C	「共にある教育」も、まずは学校からの情報発信が大切であり、学校・地域・保護者の共通認識はよく図れていたと思います。直接的な関わり方を模索し実行する必要があると思います。
B	教育は終わりが無い取組ですので、まずは職員も保護者も意識改革が大事です。その中でも補習等の時間の捻出など、子供と向き合う時間が確実に増えていることに感謝します。
C	ワンチームで動いていたと思いますが具体的な事例やその成果まで伝わってきません。教職員アンケートで「そう思う」の割合が減少していたのが気になります。
B	毎週金曜日に行っている「ふじみ寺小屋」はとても好評で、学力の底上げと家庭学習習慣に結びついているようで、学習に向かう姿勢、向き合う姿勢が定着しつつあると思います。
A	授業の内容、進め方に工夫が見られ、対話型、発展型のスタイルはとても賛同できます。少し時間がかかる子もいますが自分の考えを促すことは大切だと思います。
B	仲間と学び合うという意味では、児童同士で教え合う機会は更に増やしてもいいと感じます。社会に出ると一人で解決できることはなく、協働が当たり前なのでその力を育ててください。
B	すべての生徒にノートPCを貸し出しただけではなく、授業での活発な活用を中心に、家庭でも、オンラインでも効果的に活用していて、新たな大きな一歩を踏み出したと感じています。
B	個に応じた指導や学習機会が求められる中、先生方は大変かと思いますが、バランス感覚を大切に、個も全体も大切に指導してくださっていると感謝いたします。
B	学校という素晴らしい環境の中、友達と切磋琢磨し合い自己有用感を高めているようで、児童アンケートでも「自分や友だちを大切に…」の「そう思う」が増えているのがうれしいです。
B	「コグトレ」は子供たちがとても楽しみにしており、新たな取組として評価できます。成果までは時間がかかると思いますが、集中力や粘り強さ、対人スキルの向上が感じられます。
A	自分の考えを述べ、他人の意見を受け入れる姿勢が身に付いていると思います。自他ともに認め合い、大切に合っています。真に心に留める、身に着ける機会が多くあるようです。
A	「いつでも相談できる」ことが子供たちの安心につながっています。相談できる環境はとても大切です。学校を訪問するたびに、伸び伸びと笑顔で過ごす児童が多いと感じます。
A	理にかなった新たな取組をされていて苦労を感じます。日常生活や各行事ごとの感染症対策がとても安心でき、信頼できるもので、子供たちにもすっかり定着しているようです。
B	コロナ禍の中で、かなり難しいチャレンジだと思いますが、体力あつてのことですので、頑張っしてほしいと思います。せつかくの広い校庭で遊んでいる子が少なく感じてしまいます。
D	SOSの出し方授業等あまり伝わってきません。SOSの出し方は大人でも難しく、やはり周りが気付いてあげることが大切(先生、友達、親など)。非常に難しい問題だと思います。
A	感染症対策を中心に、学校の安全管理、健康管理は徹底していると感じます。そのせいか、今年は欠席も少ないと聞いており、みんな元気に登校していることが何よりです。
A	図書館は学校の中で大切な機能を果たす場所です。富士見の子供たちはよく利用しており、学習にも役立っています。ますますグレードアップしていくことを期待しています。
A	時代の流れに敏感で、早々に取り組み、市内でも先進的にICTを活用している様子が良く伝わってきます。子供たちの情報活用能力は確実に向上していると思います。
E	難題ですが、デジタル技術や英語、マネーの理解等、国際感覚を養うカリキュラムをより一層期待します。とても大切なことで、これからは欠くことができないものだと思います。
B	全職員の連携が見られ、一人一人の児童が大切な存在として支援体制があると感じます。さくら学級ときこえとことばの教室の存在価値が大きいのではないかと思います。

○ 職員、保護者、児童のそれぞれのアンケート結果の違いがあるのが何故なのか気になりますが、学校がとても信頼でき、安心して通っているという話を保護者の自慢話をよく耳にしま

評価委員

A

A

A

B

C

C

B

C

B

A

B

B

B

B

B

A

A

A

B

D

A

A

A

E

B